

参考：グループ会社について

パイオニアVC株式会社

製造設計現場と文教、公共（災害対策）分野に強い製品と実績を有する。
赤字が長く続いたが、2014年に当社グループ入りしてから黒字化達成



会社名	パイオニアVC株式会社（略称PVC）	
設立	2005年7月1日（連結開始日：2014年5月1日）	
買収価格	51%の株式を(株)ブイキューブが5億円で買収	
役員構成	原 清	代表取締役社長
	間下 浩之	代表取締役副社長（ブイキューブ執行役員）
	小橋 英治	取締役
	間下 直晃	非常勤取締役（ブイキューブ代表取締役社長）
	大川 成儀	非常勤取締役（ブイキューブ取締役CFO）
	亀崎 洋介	非常勤取締役（ブイキューブ取締役CTO）
	川村 雅弘	非常勤取締役（パイオニア常務執行役員）
	高田 雅也	監査役（ブイキューブ代表取締役副社長）

パイオニアVC株式会社



ハードウェアとソフトウェアを融合させたユニークなソリューション



パイオニアVC株式会社



教育のIT化に向けた環境整備4ヶ年計画による総額6712億円の予算

(平成26~29年度)

目標水準

教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数3.6人

教材整備指針に基づく電子黒板・実物投影機の整備

超高速インターネット接続率及び無線LAN整備率100%

環境整備

教材用PC 不足分146万台の新規導入及び既存約191万台に係るリース費

電子黒板 不足分40万台の整備及び既存分約1万台の更新に係る費用

実物投影機 不足分33万台の整備及び既存分約1万台の更新に係る費用

無線LAN整備 未整備38万教室に係る費用

国内学校現場に2万台の導入実績を持ち、国内ナンバーワン

[成長戦略] 国内シェアの拡大と潜在市場の開拓

パイオニアソリューションズの子会社化



教育のIT化に向けた環境整備4ヶ年計画による総額6712億円の予算

(平成26~29年度)



パイオニアVC株式会社が2013年4月に発売した協働学習支援システム「xSync (バイシンク)」が、今春より、佐賀県のすべての県立高校で導入する「1人1台の学習者用パソコン」に採用されました。

協働学習支援システムの「xSync (バイシンク) 佐賀県版」として、佐賀県立高校全36校の教師用パソコン1,707台、学習者用パソコン6,800台、計8,507台に搭載されます。

エムキューブ株式会社

メディカルヘルスケア分野におけるビジュアルコミュニケーションのデファクトを目指す。Web講演会、遠隔医療なども。



会社名	エムキューブ株式会社	
設立	2014年3月3日	
資本金	資本金2,500万円、準備金2,500万円（当社49%出資）	
役員構成	新井 浩二	代表取締役社長（当社より転籍）
	横井 智	取締役（エムスリーより出向）
	植松 正太郎	取締役（エムスリーより出向）
	小田 直樹	取締役（ブイキューブ）
	大場 啓史	取締役（エムスリー）
	平川 英治	監査役

1 コミュニケーションプラットフォーム事業



医療ならびにヘルスケア領域におけるVCプラットフォーム提供

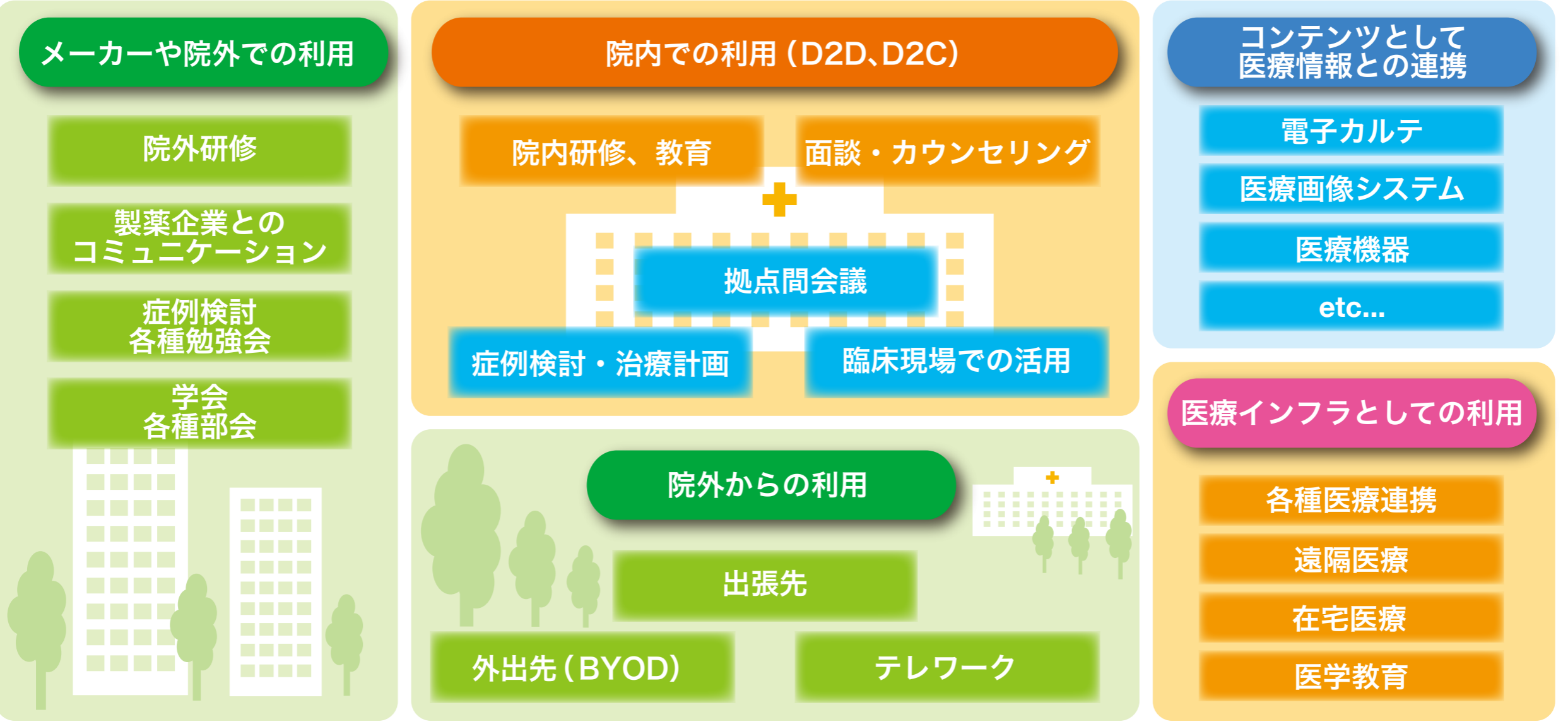
- 1-1 医師向けWebカンファレンスサービスの提供
- 1-2 医師向けウェビナーサービスの提供（医学教育、臨床の質向上目的）
- 1-3 医療者向け業務用のメッセージングアプリの提供
- 1-4 ネット診療プラットフォームビジネス

まずは精神科領域におけるオンラインカウンセリングサービス

最終的にはこの領域のEnd to Endを繋ぐサービスを目指す

1 コミュニケーションプラットフォーム事業

医療ならびにヘルスケア領域におけるVCプラットフォーム提供



2 デジタルマーケティングサービス事業



製薬・医療機器企業へのVCを活用したマーケティングサービス

2-1 Web講演会サービス

媒体パッケージ提供（m3.com、CareNet.com、日経メディカル）

エリア向け講演会専用のWebサービス「ミニWeb講演会」の提供

※手厚く安定した運用サポート、独自スタジオ、他サービスとの連携

2-2 リモートディテリングサービス

媒体パッケージ提供（m3.com）

運用サポート、CMR提供、他サービスとの連携

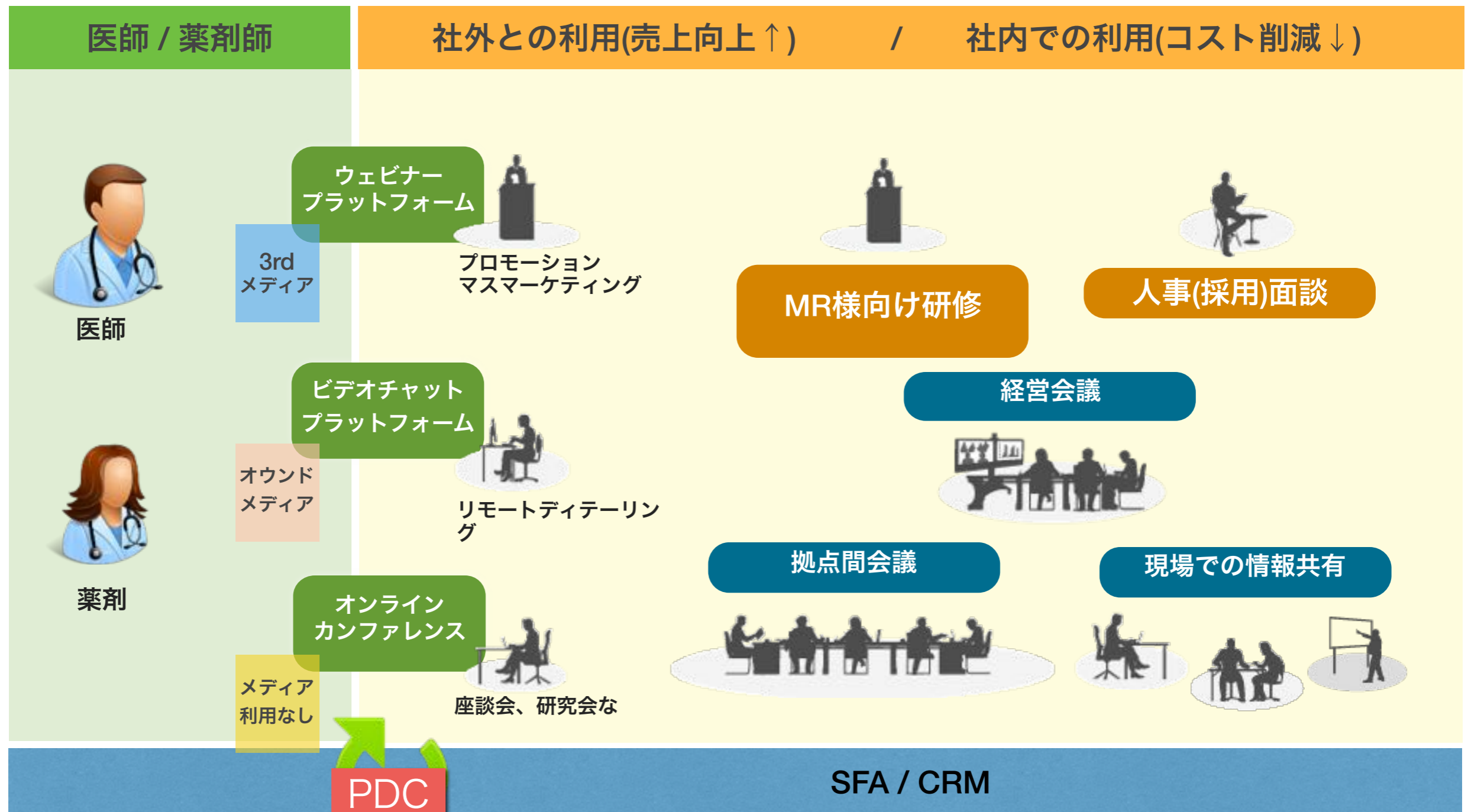
2-3 m3パネルへのMRライブ研修サービス

**製薬企業のマーケティング活動をVCで最大化する目的の一方で、医療従事者が
ビジュアルコミュニケーションに触れる機会を創出し、文化を形成していく**

2 デジタルマーケティングサービス事業



製薬・医療機器企業へのVCを活用したマーケティングサービス



アジアナンバーワンの ビジュアルコミュニケーションプラットフォーム



見えるコミュニケーション

V-CUBE



ありがとうございました。

本資料の取り扱いについて

本書は、株式会社ブイキューブ（連結子会社を含む）に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述を含みます。これらの記述は、当社が本書の作成時点において入手した情報に基づき、本書の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述または前提（仮定）は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、アニュアルレポート等をご参照ください。

本書における将来に関する記述は、本書の作成時点のものであり、本書の作成時点の後に生じた事情によりこれらの記述に変更があった場合でも、当社は本書を改訂する義務は負いかねますのでご了承ください。

本書における当社以外の企業等にかかわる記述は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について、当社はこれを保証するものではありません。本書で使用するデータまたは表現等の欠落、誤謬、本書の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本書にかかる一切の権利は、株式会社ブイキューブに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。